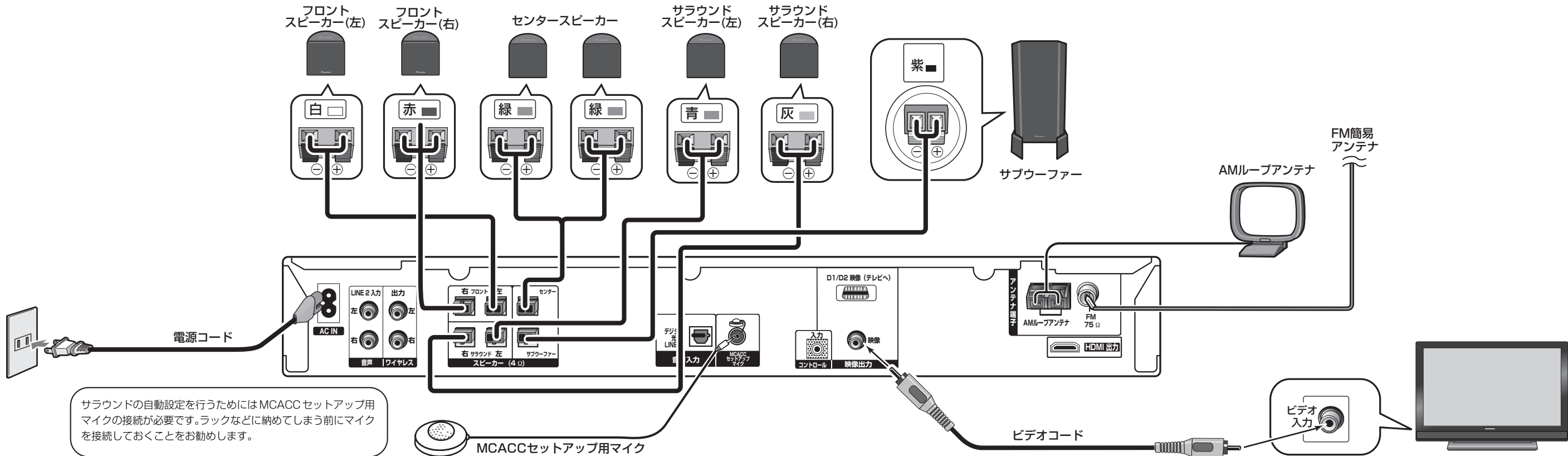
システムセットアップガイド（表面）

STEP1 付属品を確認する ▶ STEP2 スピーカーを設置する ▶ STEP3 接続する ▶ STEP4 電源を入れる ▶ STEP5 再生する

本システムは、コンパクトながら迫力あるドルビーデジタルやDTSサウンドで、あなたの部屋をホームシアターに変身させます。このシステムセットアップガイドでは、はじめてこのシステムをお使いになる方のために、接続と設置のしかたを説明しています。

⚠ 接続を行う場合、あるいは接続を変更する場合には、必ず電源コードを抜いてください。また、電源コードはすべての接続が終わってから壁のコンセントへ接続してください。

フロントスピーカー(左)　白
フロントスピーカー(右)　赤
センタースピーカー　緑　緑
サラウンドスピーカー(左)　青
サラウンドスピーカー(右)　灰
サブウーファー　紫
AMループアンテナ
FM簡易アンテナ
電源コード
ビデオコード
ビデオ入力
MCACCセットアップ用マイク

サラウンドの自動設定を行うためにはMCACCセットアップ用マイクの接続が必要です。ラックなどに納めてしまう前にマイクを接続しておくことをお勧めします。

STEP1 付属品を確認する

DVD/CD レシーバー部の付属品

- リモコン ×1
- 単3形乾電池※（AA/R6）×2
  ※動作確認用
- AM ループアンテナ ×1
- FM 簡易アンテナ ×1
- 電源コード ×1
- ビデオコード ×1
- MCACC セットアップ用マイク ×1
- 保証書
- 取扱説明書
- システムセットアップガイド（本書）

スピーカー部の付属品

- センタースピーカー ×2
- フロントスピーカー ×2
- サラウンドスピーカー ×2
- サブウーファー ×1
- ブラケット ×2
- 壁掛け用ブラケット ×6
- ネジ ×8
  （ブラケット、壁掛け用ブラケット共用）
- 滑り止めパッド（小）×18
  （フロント、センター、サラウンドスピーカー用）
- 滑り止めパッド（大）×4
  （サブウーファー用）
- スピーカーコード
  4 m（赤色のフロントスピーカー用）×1
  4 m（白色のフロントスピーカー用）×1
  4 m（緑色のセンタースピーカー用）×1
  10 m（青色のサラウンドスピーカー用）×1
  10 m（灰色のサラウンドスピーカー用）×1
  4 m（紫色のサブウーファー用）×1

STEP2 スピーカーを設置する

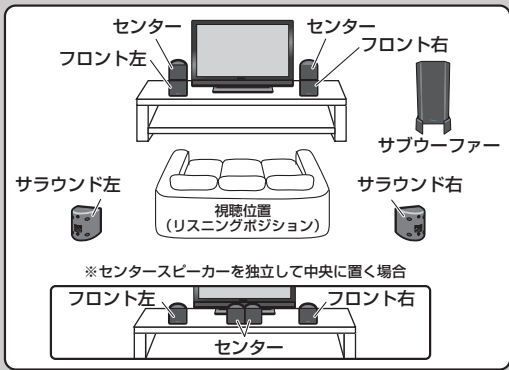
スピーカーの設置のしかた

- 本機では、サラウンドスピーカーを視聴位置の後方に設置する**「ノーマルサラウンド 設置」**と、視聴位置の前方に設置する**「フロントサラウンド 設置」**の2つの設置方法が選択できます。お客様のリスニングルームの環境に合わせてどちらかの設置をお選びください。また、各設置に合わせてリスニングモードを選択する必要があります。詳しくは取扱説明書の15ページ**「サラウンド再生」**をご覧ください。

ノーマルサラウンド 設置

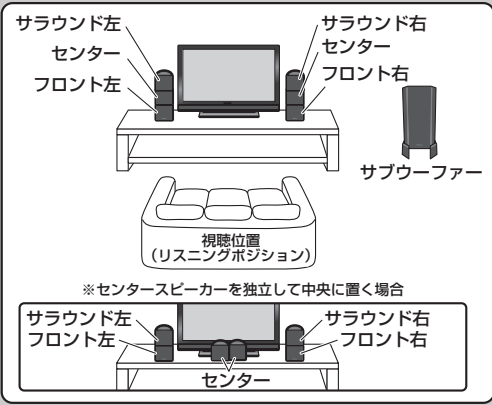
リスニングポジションの後方にサラウンドスピーカーを設置するスペースがあるときは、このように設置することをお勧めします。この設置では、「サラウンドモード」または「アドバンスドサラウンドモード」からお好きなリスニングモードを選んでお楽しみください。

- 左右に置いたフロントスピーカーは、間隔を1.8 mから2.7 m程度離して、テレビから等距離になるように設置してください。

センター　センター　フロント左　フロント右　サブウーファー　サラウンド左　サラウンド右　視聴位置（リスニングポジション）
※センタースピーカーを独立して中央に置く場合
フロント左　フロント右　センター

フロントサラウンド 設置

リスニングポジションの後方にサラウンドスピーカーを設置するスペースがないときは、このように設置することをお勧めします。この設置では、リスニングモードは「フロントサラウンド・アドバンスモード」を選んで、高いサラウンド効果をお楽しみください。

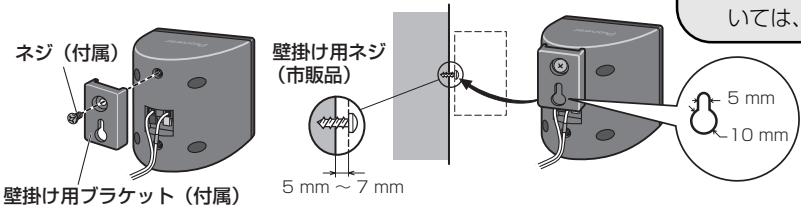
- 左右に置いたスピーカーは、間隔を1.5 m程度離して、テレビから等距離になるように設置してください。

サラウンド左　センター　フロント左　サラウンド右　センター　フロント右　サブウーファー　視聴位置（リスニングポジション）
※センタースピーカーを独立して中央に置く場合
サラウンド左　フロント左　サラウンド右　フロント右　センター

- 左右に置いたスピーカーは、テレビから等距離で同じ高さになるように設置してください。
- センタースピーカーをテレビの上に置くときは、テープなどを使用して適切な方法で固定してください。固定しないと地震などの外部の振動により、スピーカーがテレビから落下してケガをしたり、スピーカーを破損したりする原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ノーマルサラウンド設置のときは、サラウンドスピーカーは耳の高さからやや上方に設置すると効果的です。
- ノーマルサラウンド設置のときは、サラウンドスピーカーを視聴位置（リスニングポジション）から極端に離して設置すると、サラウンド効果が十分に発揮されません。
- 本機のフロント、センター、サラウンドスピーカーはテレビとの近接使用が可能なスピーカーですが、まれに設置のしかたによっては色むらを生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後再びスイッチを入れてください。その後も色むらが残るようでしたらスピーカーシステムをテレビから離してご使用ください。
- 本機のサブウーファーはテレビとの近接使用ができませんのでテレビから離してご使用ください。また、磁気に影響しやすい機器（フロッピーディスク、カセットテープ、ビデオテープなど）は本機のサブウーファーから離してお使いください。
  近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、相互作用によりテレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- サブウーファーは壁に掛けたり、天井に吊るしたりして使用しないでください。スピーカーが落下してケガをしたり、スピーカーを破損したりする原因となります。

スピーカーを壁に掛けて使う

壁掛け用ブラケットをスピーカーに取り付ける

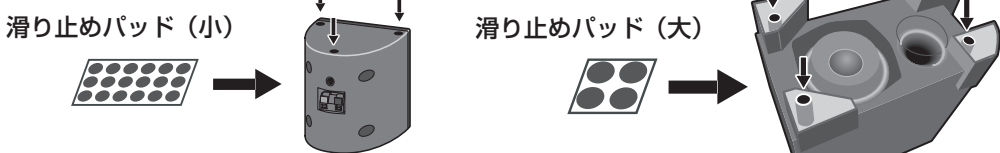
- 壁掛け用ブラケットをスピーカーに取り付けるときは付属のネジを使い、ゆるみのないようにしっかりと締め付けてください。

ネジ（付属）　壁掛け用ネジ（市販品）　5 mm ～ 7 mm　壁掛け用ブラケット（付属）　5 mm　10 mm

メモ

◆ 壁に取り付ける場合は、重量・取付方法によっては落下・転倒などの危険性があります。事故のないように十分注意してください。
◆ 設置・据付場所は重量に十分耐え得る強度を持つ場所を選んでください。強度などが不明の場合は、専門業者にご相談ください。
◆ 壁に取り付けるためのネジは付属していません。柱や壁の強度や材質に合わせたものを使用してください。なお、強度などが不明の場合は、専門業者にご相談ください。
◆ 据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

1 スピーカーに滑り止めパッドを貼り付けます

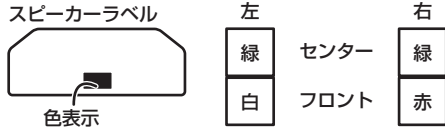
フロント、センターおよびサラウンドスピーカーの底面には滑り止めパッド(小)をそれぞれ3カ所に、サブウーファーの底面には滑り止めパッド(大)を4カ所に貼り付けます。

滑り止めパッド（小）　滑り止めパッド（大）

2 スピーカーを積み重ねてブラケットで固定します

それぞれのスピーカーは背面のスピーカーラベルで色分けされています。
色表示を確認して、間違えないようにスピーカーを固定してください。

ノーマルサラウンド 設置の場合

スピーカーラベル　色表示

左		右
緑	センター	緑
白	フロント	赤

センタースピーカーを左右に置く場合
スピーカーを下からフロント、センタースピーカーの順番に積み重ね、それぞれのスピーカー背面の下側のネジの位置にブラケットを合わせて、2カ所をネジで固定します。

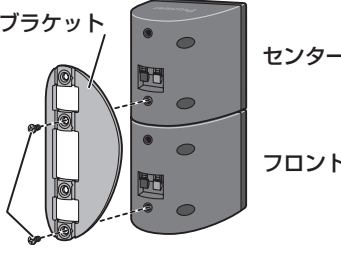
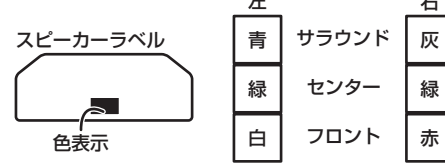
ブラケット　ネジ　センター　フロント

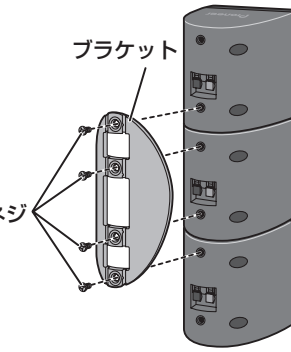
メモ

◆ ブラケットを使用した状態でスピーカーを持ち運ばないでください。ブラケットの破損や、スピーカーの落下によるけがなどの危険性があります。

フロントサラウンド 設置の場合

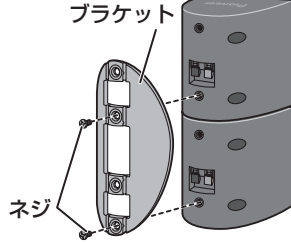
スピーカーラベル　色表示

左		右
青	サラウンド	灰
緑	センター	緑
白	フロント	赤

センタースピーカーを左右に置く場合
スピーカーを下からフロント、センター、サラウンドスピーカーの順番に積み重ねます。スピーカー背面のフロントスピーカーの上側のネジとセンタースピーカーの下側のネジ、センタースピーカーの上側のネジとサラウンドスピーカーの下側のネジの位置にブラケットを合わせて、4カ所をネジで固定します。

ブラケット　ネジ　サラウンド　センター　フロント

センタースピーカーを独立させて中央に置く場合
スピーカーを下からフロント、サラウンドスピーカーの順番に積み重ね、それぞれのスピーカー背面の下側のネジの位置にブラケットを合わせて、2カ所をネジで固定します。

ブラケット　ネジ　サラウンド　フロント

システムセットアップガイド（裏面）

STEP1 付属品を確認する → STEP2 スピーカーを設置する → STEP3 接続する → STEP4 電源を入れる → STEP5 再生する

STEP3 接続する

1 AMループアンテナを組み立てます

台を外側に出します。　突起部を溝にはめます。　完成

壁に取り付けるには....
市販のネジや画びょうなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。
① ②

2 AMループアンテナとFM簡易アンテナを接続します

AMループアンテナ　FM簡易アンテナ

コードの被覆を回しながら引き抜きます。

AMアンテナ接続端子のツメを押しながら、AMループアンテナのコードを端子に差し込みます。
コードを差し込んだら端子のツメから指を離します。
AMループアンテナは、本機からできるだけ離して置くことをお勧めします。

FM簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。
またFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで最も良い受信状態が得られるように、ピンと張ってください。

◆付属のAMループアンテナ以外のものは使用しないでください。

3 スピーカーコードを本機とスピーカーに接続します

スピーカーコード
スピーカー側へ接続するカラーチューブ
本体側へ接続するカラーコネクター

① カラーコネクターが付いていない方の先端の被覆は、ねじりながら引き抜きます。

② スピーカー背面　色表示　カラーチューブ　黒　赤

スピーカー側の端子については、スピーカー端子のツメを押しながら芯線を差し込みます。
スピーカーコードのカラーチューブのある方を端子の赤側（⊕側）に接続します。カラーチューブのないスピーカーコードは黒い端子の⊖側に差し込みます。
（スピーカーコードのカラーチューブの色と、スピーカーの背面に貼られてあるラベルの色とを合わせます。）

③ 分岐コード　本体部へ接続

センタースピーカーの接続には分岐タイプのコードを使用します。緑色のカラーチューブが付いている方を、センタースピーカーの背面端子に2台とも接続してください。

④ スピーカーコードの接続がすべて終わったら、スピーカーコードを整理します。
スピーカーをブラケットで固定している場合、左図のように、ブラケットの溝に合わせてスピーカーコードを通します。

⑤ 上側　カラーコネクター　本体側　下側　カラーコネクター　本体側

本体のスピーカー端子へスピーカーコードのカラーコネクターを差し込みます。
スピーカーコードはカラーコネクターの色と同じ色のスピーカー端子へ差し込みます。
スピーカー端子は上側と下側とで向きが異なるためカラーコネクターの向きを確認して差し込んでください。

メモ

- ◆本スピーカーを本システム以外のアンプで使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- ◆スピーカーコードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりすると本機に過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- ◆端子に接続したあとスピーカーコードを軽く引いて、スピーカーコードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- ◆スピーカー端子には非常に高い電圧が出力されます。感電の危険を避けるため、スピーカーを接続する前に必ず電源コードを抜いてください。

4 テレビと接続します

付属のビデオコード（黄色のプラグ）を本機の映像出力端子に接続します。
次に、ビデオコード（黄色のプラグ）の反対側をテレビの映像入力端子(VIDEO IN)に接続します。
本機では、D1/D2端子またはHDMI端子からでも、テレビと接続することができます。詳しくは、取扱説明書の38ページ**「他機器の接続と設定」**をご覧ください。

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

本体側　映像　映像入力

本機　ビデオ　テレビ

5 MCACCセットアップ用マイクを接続します

の付いている端子に確実に接続してください。

STEP4 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れます

矢印の方向に、裏ブタを開く → ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる → 裏ブタを矢印の方向に閉める

- ◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- ◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ◆ 長い間（1カ月以上）使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- ◆ 警告：電池を直射日光の当たるところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

2 電源コードを本体と壁のコンセントに差し込みます

AC IN　壁のコンセント

電源コードを本体のACインレットに差し込み、電源コードのプラグ部を壁のコンセントに接続します。
はじめて電源コードをコンセントにつないだときは、自動的に電源がオンになりデモモードになります。詳しくは取扱説明書の45ページ**「デモ表示設定」**をご覧ください。

3 電源を入れます

テレビの電源ボタンおよび本機の電源ボタンを押して電源をオンにします。

電源 テレビ を入れる　電源 を押す

4 テレビの入力を切り換えます

右のテレビ画面が映るように、テレビの入力切換ボタンを押して本機と接続している映像入力を選びます。

Pioneer

STEP5 再生する

1 スピーカーの接続を確認します

各スピーカーから「ザー」というテストトーンを出すことで、正しく接続されているかを確認します。
サラウンドボタンを押して、AUTOモードを選択してから以下の操作を行います。

シフト ＋ テストトーン

各チャンネルが自動で切り換わり、テストトーンが出力されます。

L　0dB

音量 を押して、音量を上げる

VOL　20

「ザー」というテストトーンが、すべてのスピーカーから順番に出ることを確認します。
決定ボタンを押すとテストトーンは止まります。
テストトーンが出力されるスピーカーが表示と異なる場合や、テストトーンの出ないスピーカーがある場合は、接続ミスが考えられます。もう一度STEP3の接続方法を確認して、接続をし直してください。

2 再生します

OPEN/CLOSE を押す　印刷面を上にする

ディスクテーブルを閉めると、自動的に再生を始めるディスクもあります。

DVD/CD を押す

再生するソースによっては、センタースピーカーやサラウンドスピーカーから音が出ないことがあります。取扱説明書の15ページ**「サラウンド再生」**をご覧になり、お好みに応じてリスニングモードを切り換えてください。

さあ、DVDの世界をお楽しみください！

最適な環境で迫力あるサラウンドを楽しむために

サラウンドの自動設定(MCACC)を行います

取扱説明書の9ページ**「サラウンドの自動設定（MCACC）」**をご覧ください。
マイクを使用した自動設定で、高精度なサラウンド設定を簡単に短い時間で行うことができます。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号　<XRA3048-A>